

広島大学(調査分析) 共同実施機関: 島根大学

「地方大学における理工系女性研究者が働きやすく
働きがいのある研究環境づくりのための調査分析」

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ
実施期間：R5年度からR6年度

【実施体制】

海外の大学及び研究機関における優れた取組について、DEI(多様性(Diversity)、公正性(Equity)、包摂性(Inclusion))重視の研究環境づくりの現状と課題を調査分析し、日本での実装可能性を検討の上、「地方大学における理工系女性研究者が働きやすく働きがいのある研究環境づくりのための政策提言書」の策定を目指して、効果的な実施体制を構築する(右下体制図参照)。

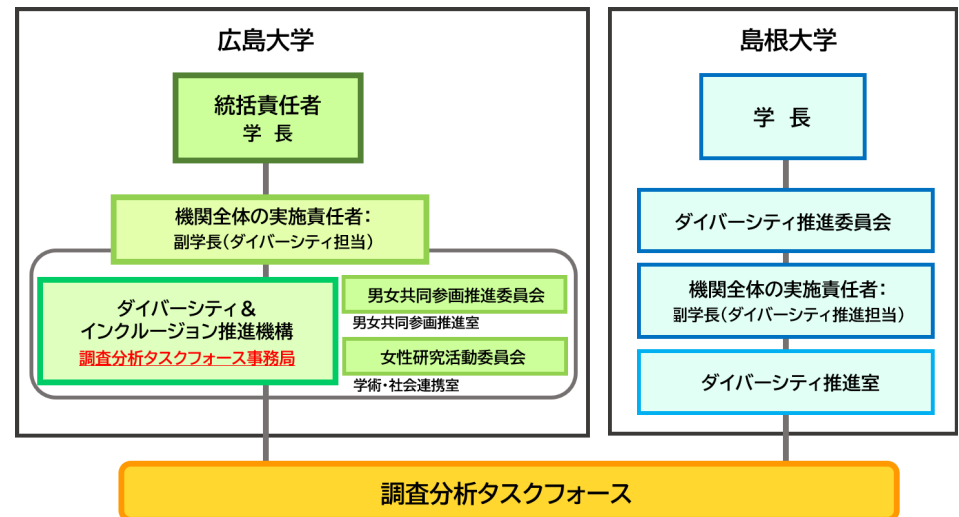
- **調査分析タスクフォースの設置**： 広島大学及び島根大学のダイバーシティ関連の担当教職員から成る「調査分析タスクフォース」を組織し、定期的に会合を持つ。調査分析タスクフォースの事務局は、広島大学のダイバーシティ&インクルージョン(D&I)推進機構内に置く。
- **事業全体のリーダーシップ**： 総括責任者は広島大学長が務める。調査分析タスクフォースのリーダーは広島大学副学長(ダイバーシティ担当)、副リーダーは島根大学副学長(ダイバーシティ推進担当)が務め、円滑な運営を推進する。
- **両大学の全学協力体制**： 広島大学はD&I推進機構のもとに、島根大学はダイバーシティ推進室のもとに、それぞれのダイバーシティ関連組織が集結して、両大学メンバーから成る調査分析タスクフォースに技術面で協力するとともに、本事業の成果の両大学における実装体制を強化する。

【特長】

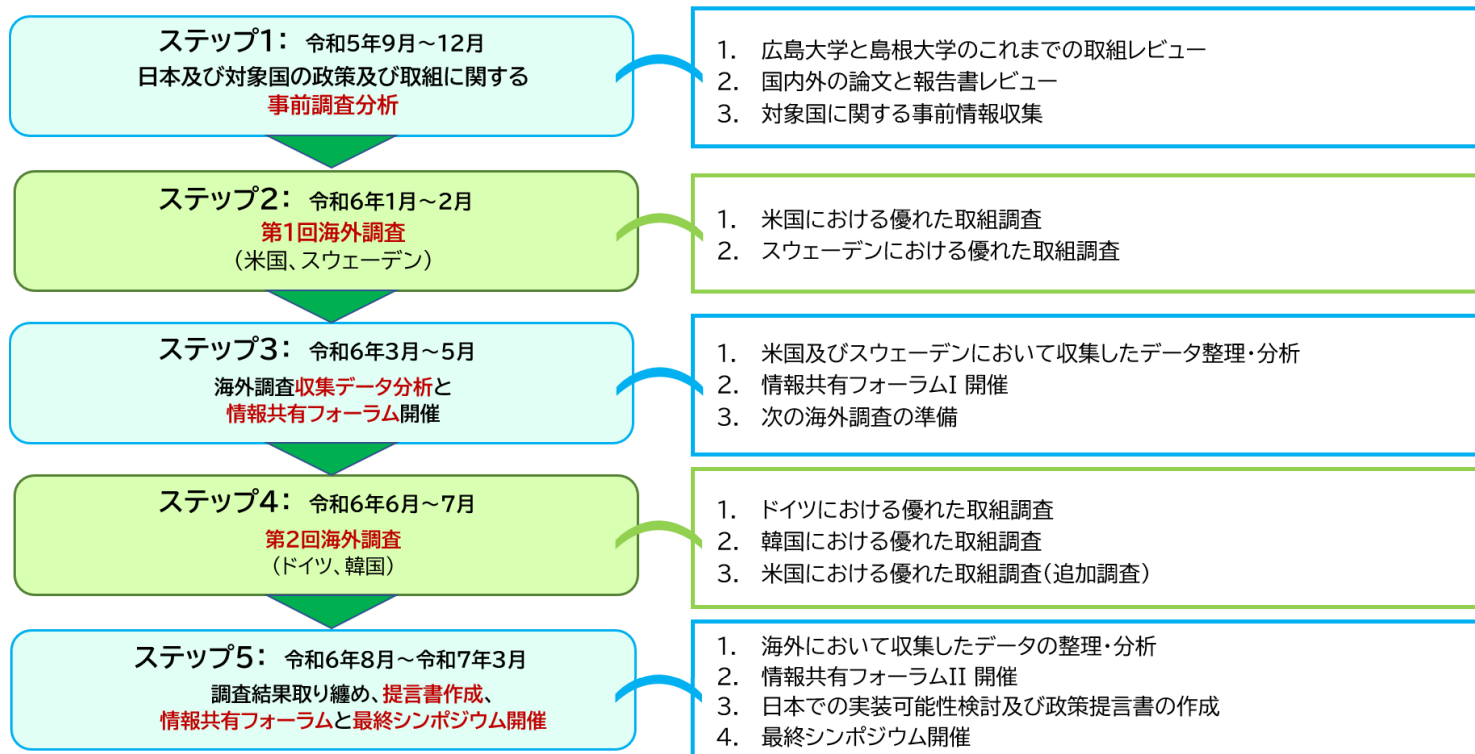
両大学とも2006年に男女共同参画宣言を行って以降、文部科学省助成事業等の支援を受け、女性研究者支援の取組を展開している。本事業は以下の特長を活かし、地方大学ならではの課題解決を目指す。

- (1) 対象国には、従来、女性研究者の割合が多いスウェーデンと米国、近年割合が増加傾向にあるドイツと韓国の4か国とする。
- (2) 日本及び対象国における「地方大学」の位置づけと課題に注目する。
- (3) 両大学のこれまでの取組をレビューして課題再確認の上で、重点調査項目と横断的イシューについて調査の枠組みを構成する。
- (4) 対象国における対面調査を通して取組実施に携わる(携わった)スタッフから現場の活きた情報を聴取する。
- (5) 地域社会との価値共創を念頭に「地方大学ならではの政策提言書」となるよう広島県及び島根県の関係者からフィードバックを得る。

【体制の概要】



【取組概要】



【広報関係】

広島大学並びに島根大学は、直近では「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」の代表機関として、大学や高等専門学校、民間企業等と協力して地域における男女共同参画を推進している。本事業では自らの経験と海外の取組から得られた情報に基づいて**政策提言書を作成する**。

「地方大学における理工系女性研究者が働きやすく働きがいのある研究環境づくりのための政策提言書」(案)

第1章 本申請事業の背景、目的、方法

第2章 地方大学における理工系女性研究者が働きやすく働きがいのある研究環境づくりの意義

第3章 米国、スウェーデン、ドイツ、韓国における取組の成果と課題

第4章 提言

- 提言1 女性研究者がアクセスしやすく柔軟な公募方法と雇用条件
- 提言2 公正さを重視した評価制度のあり方
- 提言3 女性研究者に対するメンタリング及びネットワークづくり支援
- 提言4 提言1～3実装のための地域との連携のあり方
- 提言5 提言1～3実装のための無意識の偏見への対応方法
- 提言6 提言1～3実装のためのDX活用方法

【お問合せ】

機関名:国立大学法人広島大学

所在地:〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1

連絡先:学術・社会連携室 ダイバーシティ調査分析タスクフォース事務局

電 話 :082-424-7616 Email:ura-women@office.hiroshima-u.ac.jp

HP:(作成中)